



体験からの学び

校長 藤原 明美

梅雨の走りのような雨が続き、急に暑くなったりして、季節が移り変わっていく感じが感じられます。青葉台小学校の新緑のグラデーションが美しく、紫陽花もつぼみを付け始めました。

「5つ芽を出したの！」1年生がアサガオの芽が出たことを嬉しそうに報告に来てくれます。5・6組や2年生の夏野菜の苗も、毎日の水やりやお世話で大きく育ってきました。4年生はiPadを持ち、春を探しに黒メダカの池周辺や花壇を調べたり、地域とつながって「ハニービープロジェクト」を進めたりしています。5年生はゲストティーチャーを招いて、米づくり体験、さらに地域の「あおば小麦」について探究を始めました。

昨年度、50周年を記念して様々な植樹をし、蝶を呼ぶようにと柑橘系のレモンも植えましたが、早速、葉にア

ゲハチョウの幼虫が付いたので3年生に育ててもらいました。食欲旺盛に葉を食べ、幼虫は蛹になり何日も動かなくなりました。そして、月曜日の朝、子どもたちを待っていたかのように、羽化し始めました。羽根がはじめは濡れていて、なかなか広げられない様子を見守りながら、子どもたちは生命の神秘さや自然の厳しさを感じていたことでしょう。



本物に触れる体験活動は子供達にたくさんの学びをもたらします。目の前で繰り広げられる様子に感動し、思考を巡らします。

この社会状況の中、ガイドラインに合わせて感染対策を施しながら、少しずつではありますが学校行事や体験学習を行うことができ、子どもたちの笑顔に触れて嬉しく思っています。1年生の遠足、6年生の日光修学旅行もたくさんの思い出とともに無事に終えることができました。5・6年生の家庭科では、ようやく調理実習が行えるようになり、一人でできた喜びから、家庭での実践へとつながり始めているようです。

また、保護者の方に来校していただく機会も増えてきました。先日実施した引き取り訓練をはじめ、授業参観・懇談会も工夫しながら進めています。授業参観は短い時間で大変恐縮ですが、教室での子どもたちの様子を少しでもご覧いただけたら幸いです。

まだまだ制限のかかる中での教育活動が続きますが、「何を大切にするのか」を考え、安心安全を確保しながら、工夫して、できる限り体験活動を取り入れた教育活動を進めてまいります。今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。



黒メダカの池・大きなメダカ池

今年もメダカの新しい命がたくさん生まれています。ドジョウやヌマエビも越冬し、元気です。水草にも、様々な花が咲いています。自然循環型のピオトープになりました。

南門の花壇

白い小花のノイバラや、「はまみらい」などの大輪のバラが咲き誇っています。ガーデニングボランティアさん、ありがとうございます！

